

Y字形に仕立てたモモの密植低樹高栽培法のマニュアルの作成

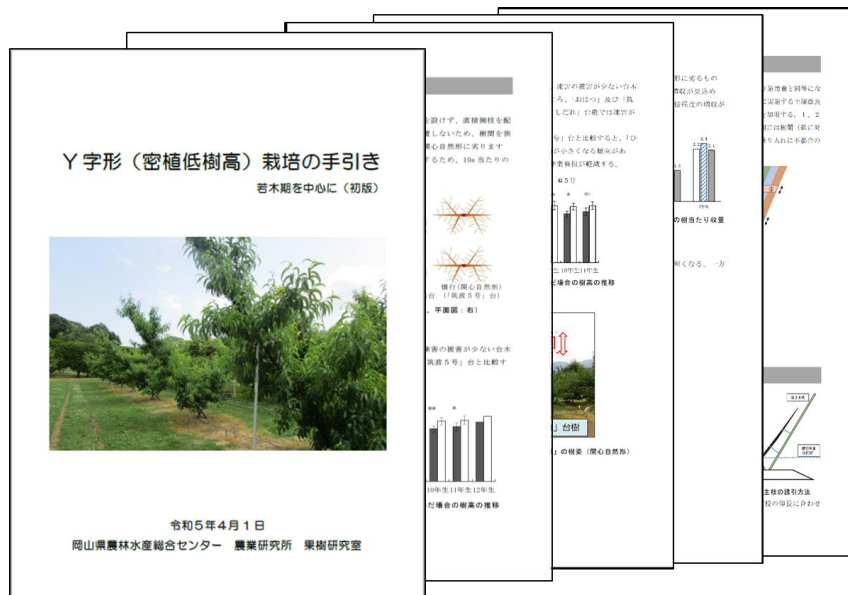


図1 作成したマニュアルから抜粋

開発のねらい

新たに開発したモモのY字形仕立てによる密植低樹高栽培法は、今までの慣行仕立てと比べて、果実品質に大差がなく、早期多収及び軽労化が可能です。今までの栽培管理とは異なる部分も多く、現地での指導に活用可能な資料が必要でした。そこで、本栽培法の若木期の栽培管理方法の要点をまとめたマニュアルを作成しました。

新技術の概要

- 本マニュアルは、Y字形に仕立てた「清水白桃」について、年次ごとの栽培管理方法をグラフや表、実際の管理作業の写真などを用いてまとめた資料です。
- 慣行の開心自然形仕立てと比較すると、本栽培法の5年生までの10a当たり収量は1.46～1.6倍です。作業時間は1.2～1.3倍程度の増加となりますが、生産性は1.2倍程度となります。
- 経営指導指標の所得率から試算を行うと、本栽培法は若木期の5年間で10a当たり35～47万円程度の増収が見込まれます。

活用場面

作成したマニュアルは、県内の普及指導センター向けに配布予定です。